



やまと市民討議会 開催結果



大和市イベントキャラクター「ヤマト」

問合せ先
大和市 政策部 総合政策課 総合計画担当
電話：046-260-5350（直通）

～～～ 当日のプログラム ～～～

「第8次総合計画・後期基本計画」の策定に向けて 『やまと市民討議会』を開催しました！

大和市の将来都市像「健康創造都市 やまと」を実現するための後期基本計画（平成 26～30 年度）策定に向け、平成 24 年 10 月 13 日（土）、20 日（土）の 2 日間にわたって、『やまと市民討議会』を開催しました。これは、サイレントマジョリティと呼ばれる、市に意見を述べる機会の少ない人たちの意見を伺うために、市が企画したものです。



無作為に抽出した 18 歳以上の市民 3,000 人に参加案内を送付し、その中から応募のあった 27 人に参加していただきました。また、市内の高等学校のうち 4 校から 13 人の生徒も参加。若者ならではの発想で意見を述べってもらうことにより、一般の方々も良い刺激を受け、討議会全体が活性化されました。さらに、本市の若手職員 16 人も、行政のプロとしての能力アップのため参加しました。

【1日目】10月13日（土） 会場：市地域医療センター2階講習室

時間	内容	時間	内容
9:30～10:00	受付	13:00～13:05	市長あいさつ
10:00～10:05	開会、主催者あいさつ	13:05～13:40	テーマ：人の健康 情報提供、役割分担の決定
10:05～10:10	討議会開催の趣旨説明	13:40～15:30	討議
10:10～11:00	討議の進め方、市の概要、総合計画について	15:30～15:35	（休憩）
11:00～12:00	講演：国士舘大学 平石正美教授 テーマ：市民社会を確立するための 制度設計の考え方	15:35～16:15	発表（各班 5 分）
		16:15～16:25	平石教授による講評
		16:25～16:30	事務連絡、解散
12:00～13:00	（昼食）		

【2日目】10月20日（土） 会場：市勤労福祉会館3階ホール

時間	内容	時間	内容
8:30～9:00	受付	13:20～13:55	テーマ：社会の健康 情報提供、役割分担の決定
9:00～9:05	あいさつ、日程の確認	13:55～15:35	討議
9:05～9:40	テーマ：まちの健康 情報提供、役割分担の決定	15:35～15:40	（休憩）
9:40～11:20	討議	15:40～16:25	発表（各班 5 分）
11:20～11:25	（休憩）	16:25～16:35	平石教授による講評
11:25～12:10	発表（各班 5 分）	16:35～16:40	主催者あいさつ
12:10～12:20	平石教授による講評	16:40～16:45	事務連絡、閉会
12:20～13:20	（昼食）		

～～～ 講演 市民社会を確立するための制度設計の考え方 ～～～

国士舘大学政経学部
教授 平石 正美氏に
講演していただき
ました。



日本人の社会性が変わって
きた要因は…??

【重要な視点】

- ① 今までとは異なる新たな視点からのコミュニティの活性化、ネットワークの再構築
- ② 市民参加の枠組みの再設計
- ③ 共感や連帯感を実現できる社会の形成

これからの地方自治
のあり方とは…??

《市民討議会に参加して…（参加者のうち 34 人の方からの回答）》

- ・市内各地域のいろいろな年代の方々と話すことができ楽しかった。（50 代女性）
 - ・これで終わりではなく、市民参加の討議会を続けてほしい。（60 代女性）
 - ・「地域力」が、今後は必要なのだと実感できた。この討議会をきっかけに「気軽に何かに参加してみよう！」という気持ちが芽生えた。（30 代男性）
など多数の感想が寄せられました。
- また、参加して「良かった（29 人）」「まあまあ良かった（5 人）」と大変肯定的な感想をいただきました。

● 今後の取り組み ●

この市民討議会で頂いた内容は、市民参画で得た貴重な意見としてとりまとめ、後期基本計画を検討・作成するための重要資料として取り扱います。



3つの「健康」をテーマに各グループで話し合っていました！！

人の健康

主要課題

対応方針・解決策

①心身の健康について

1グループ

- ・緊急医療体制の向上
- ・検診への参加
- ・地域の活性化や環境の美化

- ・医師の増員、夜間対応の拡充
- ・楽しみをもって参加できるように 他
- ・自治会への参加や緑を増 他

2グループ
★高校生

- ・医療サービスの宣伝
- ・病気について相談しやすい環境づくり
- ・人との交流（声かけ）

- ・掲示板、回覧板等で周知
- ・他人との壁をなくし、親近感を醸成する 他
- ・交流の場を増やす

②高齢者、障がい者などへの支援について

3グループ

- ・誰もが暮らしやすい環境づくり
- ・助けあいの地域づくり
- ・弱い立場の方の視点に立ったサービスづくり

- ・緑の保全・活用、施設の利便性の向上
- ・ネットワークづくり 他
- ・弱い立場の方に配慮できるよう職員等の質を向上する

4グループ

- ・福祉情報の入手方法
- ・高齢者の生きがい活動の活発化
- ・民生委員・介護施設の不足

- ・相談窓口の一本化、情報提供の多様化
- ・若い世代の自治会入会を促進 他
- ・不足補充のための予算化

③子育て支援について

5グループ

- ・行政が子を預けたい親のニーズに対応できていない
- ・施設やサービスはあるが利用されていない
- ・安心して子どもを外で遊ばせられない

- ・保育施設、行政とボランティアの連携
- ・サービス提供の方法を工夫する 他
- ・昔からの公園や広場を点検整備する

6グループ

- ・地域で子育てを助ける仕組み
- ・世代を超えたコミュニケーションの機会づくり
- ・子育てにはお金が必要

- ・子どもあずかり隊をつくる 他
- ・自然教室での多世代間コミュニケーション
- ・予防接種の助成金を増やす

④学校教育について

7グループ

- ・人づくり
- ・いじめ問題

- ・声かけ運動、スポーツ教育 他
- ・教育現場の体制、地域活動による教育

8グループ
★高校生

- ・先生がいじめの実態を把握できていない
- ・通学路で交通ルールが守られていない
- ・図書館の見た目が入りづらい

- ・生徒が気軽に相談できる場所を増やす 他
- ・定期的に交通安全教室を実施する 他
- ・図書館をもっとおしゃれにする 他

まちの健康

主要課題

対応方針・解決策

⑤安全安心を感じる生活について

1グループ

- ・防犯対策の強化・充実、朝方の防犯対策
- ・道路事情
- ・自治会活動の弱体化

- ・地域みんなで防犯 他
- ・車と人との共存 他
- ・主婦、退職世代の参加 他

2グループ

- ・静かな(騒音のない)暮らし
- ・地域の取り組み
- ・行政の取り組み姿勢

- ・基地をなくす、移転
- ・世代を超えた地域でのコミュニケーション
- ・地域・行政共に取り組む 他

⑥快適で利便性の高い街づくりについて

3グループ

- ・ゴミバス運行の効率化
- ・自転車道の整備と乗車マナーの向上
- ・小規模公園の再生・整備

- ・「のりあい」の利用を検討
- ・自転車の乗り方教室の開催など
- ・市と各自治会で話し合いを行う

4グループ

- ・公園・農地の有効活用
- ・コミュニティバス(のろっと)の利便性をあげる(道路・交通)
- ・市民の意識が低い

- ・使用されていない農地・緑地を子どもたちに開放 他
- ・使いやすさをリサーチする 他
- ・市民討議会の開催 他

⑦環境への配慮やまちの緑化について

5グループ

- ・遊休農地の有効活用
- ・美化運動の積極化
- ・CO₂の削減

- ・民間組織への提供 他
- ・住民同士の声の掛け合い 他
- ・コミュニティバス(のろっと)の増加(台数・ルート) 他

6グループ

- ・自然との共生をテーマにした街づくり
- ・ごみの減量化
- ・河川の水質向上

- ・ランドデザイン(のろっと)の明確化
- ・市内企業による過剰包装の低減化 他
- ・市独自の排水基準を設定 他

7グループ
★高校生

- ・ごみが多くて害虫が多い
- ・タバコのポイ捨てが多い
- ・緑が少ない

- ・害虫・害獣駆除 他
- ・市のルールをパンフレットにして配る 他
- ・地域で管理する花壇をつくる 他



社会の健康

主要課題

対応方針・解決策

⑧豊かな心を育む生涯学習、文化活動について

1グループ

- ・大和らしい伝統の掘り起こし
- ・図書館や文化施設の充実
- ・スポーツ施設の充実

- ・郷土史家、趣味のサークル等の活用
- ・量より質の充実 他
- ・なでしこ(女子サッカー)に特化する 他

2グループ

- ・地域人材の活用
- ・施設の充実
- ・イベント等の告知

- ・地元の文化人等による勉強会・講演会
- ・図書室のアップグレード 他
- ・広報誌が市民全員に届くような制度づくり 他

⑨まちの活力や賑わいについて

3グループ

- ・交流の盛んなまちづくり
- ・魅力ある商業が栄えるまちづくり
- ・地域に根付いた会社が育つまちづくり

- ・メディアへの露出、PRの強化 他
- ・駅前等の商業地域の環境整備
- ・会社設立のサポート体制の確立 他

4グループ

- ・市内産業の活性化
- ・厚木基地を核とした多文化共生
- ・世代間や地域と行政などの連携強化

- ・産業ツアー 他
- ・お互いの名産品を伝え合う 他
- ・老若男女が参加できるお祭りの創出 他

⑩大和の魅力のPRについて

5グループ

- ・ヤマトンのアピール
- ・女子サッカー
- ・厚木基地

- ・ヤマトンの恋人募集 他
- ・なでしこメンバーと交流できるイベント 他
- ・弱みを強みにしてPR材料に

6グループ

- ・情報量が少ない、情報多様化
- ・自然環境整備
- ・魅力的な企画

- ・情報発信源の一本化 他
- ・整備を続けられる体制づくり 他
- ・市民参加型イベント 他

7グループ
★高校生

- ・ヤマトン
- ・市の知名度が低い
- ・若い子向けのものがない

- ・ヤマトンに特徴を付ける 他
- ・芸能人をイベントに呼ぶ 他
- ・レジャー施設をつくる 他

